

製品名: IRF3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00102**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。 |
| 精製 | アフィニティークロマトグラフィー |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 57 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | IRF3 |
| 別名 | IRF3; Interferon regulatory factor 3; IRF-3 |
| 遺伝子 ID | 3661 |
| SwissProt ID | Q14653 |
| 免疫原 | 標的タンパク質に対応する合成ペプチド |

背景

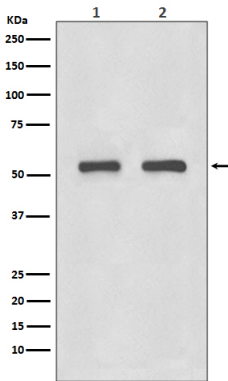
IRF は、Jak/Stat 経路内で機能し、ウイルス感染に対するインターフェロン (IFN) および IFN 誘導性遺伝子の発現を制御する転写因

子ファミリーです。IRF-3 は細胞増殖を阻害し、自然免疫応答における遺伝子発現の制御に重要な役割を果たします。

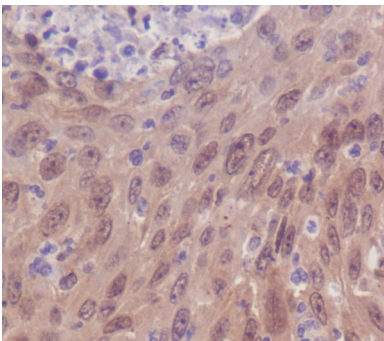
研究分野

シグナル伝達

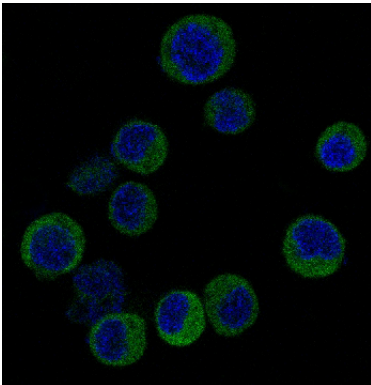
画像データ



(1) HeLa ライセート、(2) IRF3 抗体を用いた 3T3 ライセート中の IRF3 のウエスタンブロット解析。



IRF3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



IRF3 抗体を使用した Jurkat における IRF3 の免疫蛍光分析。